



女子美術大学  
洋画専攻  
パンフレット

# 女子美術大学 洋画

「好き」から未来が見えてくる



# 活躍する卒業生

洋画専攻の卒業生の進路は「就職」・「進学」・「制作活動」とさまざまです。  
業界や職種の枠を越えて、社会で活躍する卒業生を紹介します。

## 将来、 何になりたいですか？

時間を忘れるほど夢中になって絵を描いたり、

形にしてみたいアイデアがたくさん浮かんだり、

美術は好きだけど、どんな未来につながっているかわからない。

でも目の前にある「好き」という気持ち。

無心に打ち込んでいるうちに、なりたい未来の自分と出会う。

そんなふうに美大で学ぶその先に「将来」が見えてくるのかもしれません。

それぞれが自分のペースで学んでいくことができるのが洋画専攻。

さまざまな表現に触れて「これから」の自分を見つけてください。

### 卒業生の主な進路

#### ゲーム会社

任天堂 / カプコン / コナミグループ / ハル研究所 / ドリコム  
ユークス / ポルテージ / コロプラ / Cygames / 1-UPスタジオ

#### WEB・映像・TV・アニメ会社

ヤフー / トランスクスモス / IMAGICA Lab.  
あとらす二十一 / クリーク・アンド・リバー社 / びえろ  
A-1ピクチャーズ

#### 文具・玩具・ジュエリー・服飾雑貨会社

サンスター文具 / サンエックス / ナカバヤシ / タイー  
Francfranc / バルコス / 世界堂 / ユザワヤ商事 / ピームス

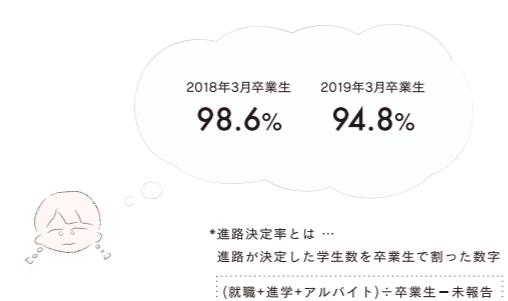
#### インテリア・空間会社

DNP住空間マテリアル / 大塚家具 / タマホーム / 四季  
東宝映画美術 / 東宝映像美術 / 高津装飾美術 / 商業芸術

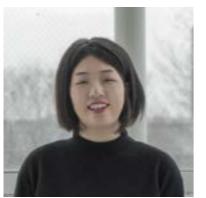
#### 学校教育(教員)・美術館・その他

東京都教育委員会 / 神奈川県教育委員会 / 千葉県教育委員会  
森美術館 / 東日本旅客鉄道 / 大学院進学

#### 洋画専攻の進路決定率



#### 株式会社 カブコン キャラクターデザイナー



2020年  
絵画コース卒業  
木塚 はなさん  
1998年 長野県出身  
塙尻志学館高等学校卒業



「自然史」  
2018年 台湾芸術大学×女子美のコラボプロジェクトにて制作

#### 株式会社 IMAGICA Lab. アシスタントエディター



2019年  
絵画コース卒業  
森田 夢理歌さん  
1997年 神奈川県出身  
神奈川県立藤沢総合高等学校卒業



卒業制作 「忘れたくない」 2019年  
アニメーションを絵画に投影するプロジェクトマッピング作品  
Photo by Mareo Suemasa

#### 株式会社 あとらす二十一 webデザイナー



2019年  
版画コース卒業  
大石 深雪さん  
1997年 東京都出身  
女子美術大学付属高等学校卒業



人気のフライパン、フレーバーストーンシリーズをメインとしたセールページの作成

#### ナカバヤシ株式会社 広報



2016年  
版画コース卒業  
大西 優歩さん  
1993年 神奈川県出身  
神奈川県立市ヶ尾高等学校卒業



グループ社内報「ふれあい」

#### アーティスト



2011年  
大学院修士課程洋画研究領域修了  
大小島 真木さん  
1987年 東京都出身  
女子美術大学付属高等学校卒業



描くことを通じて、鳥や森、菌、鉱物など他者の視野を自身に内在化し、物語ることを追求している。2014年にVOCA奨励賞受賞。2019年にはフランス、パリの水族館での個展「鯨の日」、「瀬戸内国際芸術祭2019-粟島」への招待出品など世界各地で多様なプロジェクトを行う。  
【学生時代について】学芸員資格やグラフィックソフトの資格の取得や、「越後妻有トリエンナーレボランティア活動(こへひ隊)」などのアートイベントにも積極的に参加しました。



"L'oeil de la Baleine/鯨の目" 2018-2019年、個展、パリ・アクアリウム、フランス Aquarium de Paris, France  
Photo by Serge Koutchinsky

#### 造形作家



2012年  
絵画コース卒業  
かわさき みなみさん  
1989年 千葉県出身  
朋優学院高等学校卒業



卒業制作 「Home sweet home -そばにいてくれてありがとう-」 羊毛・金網 2011年

# 卒業制作・修了制作

絵画  
版画

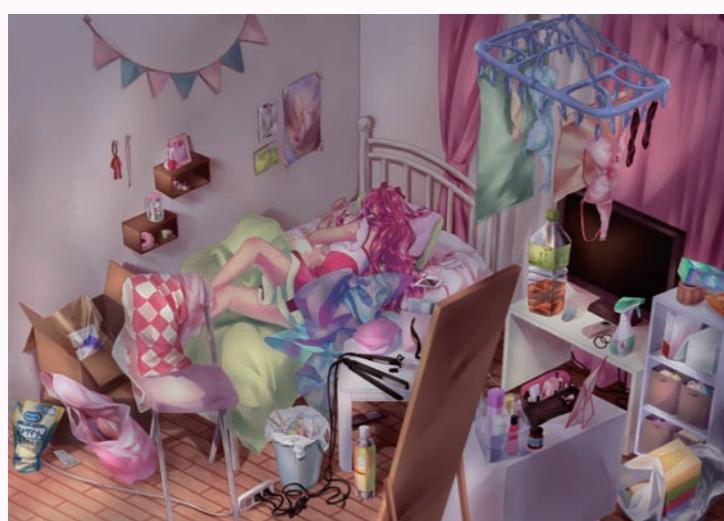
時代を敏感に察知し、自分の感覚を信じて生み出される「一人ひとり違う」女子美生の作品。  
4年間で培われた専門的な技術と知識をベースに、多様な表現へと広がっていきます。



石井 杏奈 「あいきょうとあいきょう」 194×194cm 油彩、キャンバス



カン ミンハ 「カン ミンハはテーブルの向こうに座っている」 映像(7分46秒)



山口 知夏 「リアル」 84×119cm インクジェットプリント



川窪 花音 「1ペイントとコーヒー」  
145.5×227.3cm アクリル絵の具、キャンバス

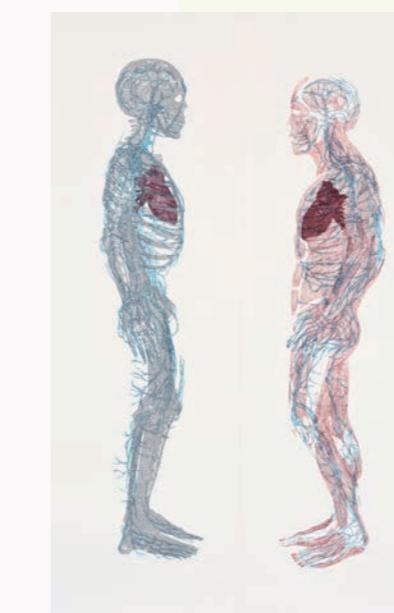


加藤 みゆき 「It is also me」 82×174cm リトグラフ

\*大学院 美術研究科 美術専攻 版画研究領域 修了制作



山本 日向子 「弱者と強者-Authority-」  
300×188×186cm ミクストメディア



小泉 百合子 「終わりのない対話」  
140×75cm コラグラフ



東口 明生 「金曜日の晩餐」 18.5×35.5cm 銅版画



徳江 益美 「夜明け」 100×322cm アクリル絵の具、キャンバス



茂木 愛子 「無題」 78.8×50cm シルクスクリーン

photo by Mareo Suemasa (絵画コース分) / Hiromi Kawakami photo studio (版画コース分)

# 洋画専攻カリキュラム PICK UP

1年次

洋画専攻で学べるのは油彩とデッサンだけではありません。  
選択できるカリキュラムで、様々な素材、技法に挑戦して自分らしい表現を見つけます。



カリキュラムは「描くこと」に重点をおいた必修のA系、  
表現のバリエーションを学ぶ選択のB系で構成されています。



pick up 1

洋画専攻 1年次 絵画IB

## 静物・人体コスチューム

人体モデルとアトリエ内に組まれた静物モチーフを油彩画で表現する課題です。画面構成、空間表現、さらに質感表現などを学び、自らの表現へと繋げていきます。古典から現代までの人物画・静物画の作品紹介も行い、技法や様式の変遷を学びます。



pick up 2

洋画専攻 1年次 絵画IA

## 校内およびグランドの取材から《風景》

新緑の気持ちの良い季節にキャンバスとイーゼルを抱えて、大学の校内、グランドの敷地周辺を散策、観察して屋外で風景画を制作します。1週目はスケッチやデッサンを行い、下絵の工程を学んで30号以上の油彩画を制作します。



pick up 3

洋画専攻 1年次 絵画IB

## 版と写真

版画と写真的表現はめまぐるしく変化しています。授業では現代の版画家や写真家を紹介し、写真を印画する方法や間接的にイメージを写す表現を学びます。様々な方法で写し取ったイメージを使って、平面・立体・インスタレーションなどに展開します。

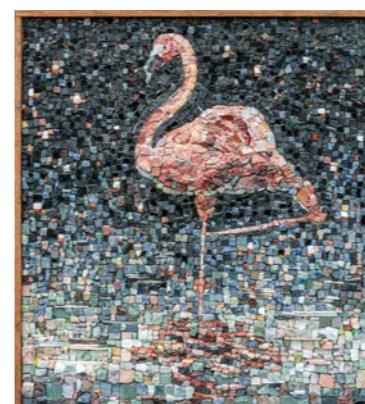


pick up 4

洋画専攻 1年次 絵画IB

## 動物・植物

古くから人間と深い関わりを持ち、様々な表現の対象となってきた動物と植物。間近で観察することによる発見や、現代社会における人間との関わりから考察する事で得られる発想など、様々なアプローチから作品制作を行います。

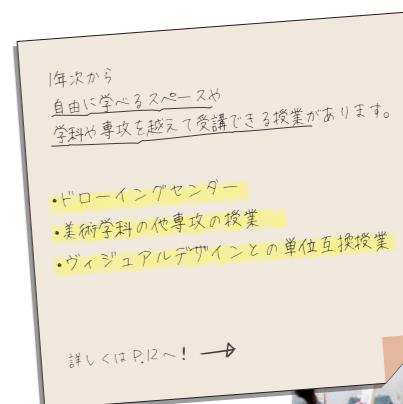


pick up 5

洋画専攻 1年次 絵画IB

## モザイク

大理石を素材に用いたモザイク技法を学びます。自分で細かく割った大理石を使って集積、接着させることで形や模様を描き、石の特性を体感します。絵の具以外で表現することで、その歴史と普遍性を体感します。



# 学生 インタビュー



絵画コース 2年生  
和田 麻友子さん

2001年 東京都出身  
女子美術大学付属高等学校 卒業

## 学外プロジェクトで留学生との共同制作を経験

女子美術大学の付属から、洋画専攻に進学しました。メディアアート表現領域と洋画専攻で迷った時に、今よりももっと画力を上げたいと思って、洋画を選択しました。大学に入って授業を受けてみると、高校まで感覚的に描いていた絵が、実は科学や理論によって裏付けされていることを知りました。特に色彩学や美術解剖学は、実制作の観点から考えさせられることが多い科目でした。選択実技では、モザイク画の授業が印象に残っています(pick up5:モザイク作品は和田さん制作)。石を加工することから始め、自分なりに工夫を重ねて試行錯誤し、納得のいく作品に仕上げることができました。また、授業の他に学外で展示する、アートラボはしもとの連携プログラムに参加しました。留学生と一緒に作品を発表するというプロジェクトで、香港からの留学生と一緒に取り組みました。週に一回はランチミーティングを重ねて、初めての共同制作を体験しましたが、お互いの違いを超えて話し合ったことを作品に反映させました。他の参加者との交流も含めて、これまでにない貴重な経験になりました。



女子美術大学アートラボはしもとの連携プロジェクト  
'Diversity in Life 多文化交流~制作の現場から~'  
上「源」"Abys" 留学生との共同制作作品  
Photo by Miho Kokuma  
下「プレゼンテーションの様子

# 洋画専攻カリキュラム PICK UP

## 絵画コース 2年次

興味を持った画材や技法の研究をしたり、多様な表現に挑戦できる絵画コースの2年次。テンペラ画、インスタレーション、アニメーションの授業も選択することができます。



### 絵画コース 2年次

**絵画IIA**  
油彩 モルタル空間  
進級制作

**絵画IIB**  
古典技法（テンペラ）  
スタイルフォーム（立体）  
インスタレーション  
マンガ  
デジタル・アナログ イラストレーション  
アニメーション など

**デッサンII**

風景ドローイング  
動物ドローイング

学外授業

スケッチ旅行  
美術館・ギャラリー鑑賞

### 絵画コース 3年次

**絵画IIIA**  
テーマと表現  
各自のテーマによる制作

**絵画IIIB**  
グループワーク  
コンペティション  
各自のテーマによる制作  
選択制ゼミ  
立体（木工など）  
テンペラ応用編  
写真

学外授業

取材旅行  
古美術研究旅行  
美術館・ギャラリー鑑賞



2年次から  
絵画コースと版画コースに  
分かれます。

## 絵画コース 3年次

3年次では作品やプロジェクトの社会への発信が始まります。ディスカッションやプレゼンテーションの機会も多く、考える力、伝える力を養います。



**pick up 1**

### 絵画コース 3年次 絵画IIIB

**グループワーク  
《ワーク・イン・プログレス》**

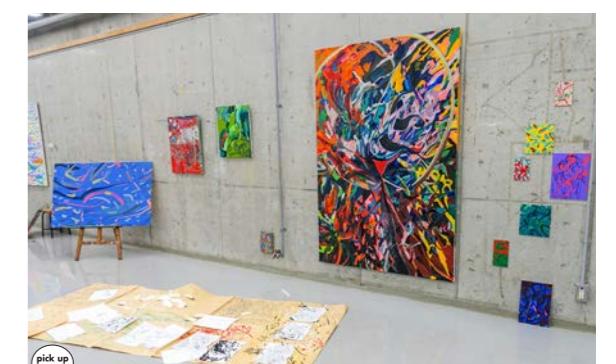
ランダムに作られたグループに「協働」が課されます。ここではグループディスカッションを通してテーマや表現方法を決定し、皆で作品を完成させ発表を行います。リアルタイムでプロセスを公開しながら表現を構築していくことで、より多様性のある作品を生み出す方法論を探求していきます。



### 絵画コース 3年次 絵画IIIB

**写真ゼミ**

写真、動画映像などを通して、社会や環境に含まれる価値観や問題意識を新たな視点から探究します。印画紙などを用いて光や現象としての色彩や時間などの関係性の問題、人物や記憶や内面的な心理描写の問題を学び取ってもらいます。



### 絵画コース 3年次 絵画IIIA・絵画IIIB

**各自のテーマによる制作**

3年次後期になると、それぞれのテーマでの制作がメインになります。ポートフォリオ作成の指導を受け、プレゼンテーションの練習も重ね、自分なりの表現方法を確立して卒業制作の準備を進めます。

## 学生 インタビュー



絵画コース 4年生  
小林 祐紀さん

1998年 静岡県出身  
静岡雙葉高等学校 卒業

制作の技術だけでなくプロセスの大切さも学ぶ

AO入試（現・総合型選抜）で女子美を選んで入学しましたが、授業で技術を磨いていく中で迷いが生じることがありました。そんな中で、2年次の素材研究の授業を受講し、アクリル絵具でパネルに描いてみたり、アクリル板を使ってみたりすることで、普段の制作とは異なる方法を試した結果、多くの発見がありました。その後には、「ワーク・イン・プログレス」でグループワークを体験し、作品の仕上がりだけでなく、プロセスを重視することの大切さを意識するようになりました。それらの経験から、展示場所について意識的になれたことも大きな変化であったと思います。また、3年次になってからは各自が自分でテーマを決めて制作する機会が増え、それまでに取り組んだことのなかった、箱を使ったインスタレーション作品にも挑戦しました。今は、舞台美術に興味を持っていて、ウィンドウディスプレイを手掛ける会社のインターンにも参加しています。今後は、卒業後の進路も見据ながら、作品制作にも打ち込んでいきたいと思っています。



<絵画コース 3年次 絵画IIIB 各自のテーマによる制作>制作作品

# 洋画専攻カリキュラム PICK UP

## 版画コース 2年次

版画コースは2年次から始まります。  
まず基本的な4版種、銅版画・リトグラフ・木版画・シルクスクリーンを学びます。



**pick up 1**

版画コース 2年次 版画I

### 版画基礎

版画の基本となる4版種、銅版画・リトグラフ・木版画・シルクスクリーンを学びます。それぞれ4週間程度の実習を行い、版画作品を制作するための技術を身につけます。作品を作りながら技法の特徴を理解し、表現の可能性を探っていきます。

版画コース 2年次

版画  
銅版画  
リトグラフ  
木版画  
シルクスクリーン  
写真製版  
紙漉き

版画表現演習I

版画史  
アートワークなど

テッサンII

人体ヌード・静物  
ミクストメディア  
モノタイプ・コラグラフ

学外授業

スケッチ旅行  
美術館・ギャラリー鑑賞

版画コース 3年次

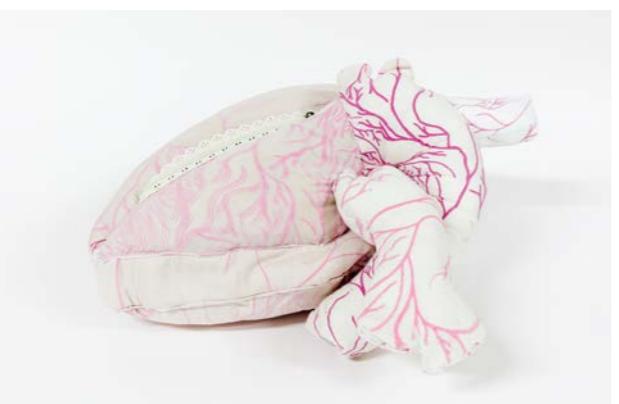
版画II  
版画制作  
製本・アートブック  
公共学習セミ

版画表現演習II

表現と言葉など

学外授業

古美術研究旅行  
工房見学  
美術館・ギャラリー鑑賞



**pick up 2**

版画コース 2年次 版画I

### ミクストメディア

Tシャツのプリントなどに用いられているシルクスクリーン。この技法は金属、木材、ガラスなどにも印刷することができます。それぞれの表現にあつた素材を見つけることから作品制作を始め、現代的かつ独創的な表現方法を探ります。

**pick up 3**

版画コース 2年次 版画表現演習I

### アートワーク

版画制作において和紙や洋紙などの「紙」は、最もポピュラーで重要な支持体です。授業ではデザインペーパーの制作・発注を行い、身近で実用的な紙製品に成型する中で「紙と印刷の関係性」を考えます。グラフィックソフトの基礎的なスキルも養います。

2年次から  
絵画コースと版画コースに  
分かれます。

## 版画コース 3年次

3年次では専門の版種を選びます。  
印刷・製本・デジタルプリント・ワークショップの実践などから、専門性の幅を広げます。



**pick up 1**

版画コース 3年次 版画II

### 版画応用

2年生で習得した技術を基に、自分に合った技法を選んで制作します。技術に磨きをかけながら、自分が表現したいことを探ります。作家を招いての特別講義、美術館・ギャラリー鑑賞などを通して、版を使った表現について思考を深めます。



**pick up 2**

版画コース 3年次 版画I

### 公共学習ゼミ

版画の技術や知識を活かして、地域の子どもを対象にしたワークショップを行います。ディスカッションを通してアイデアや実施方法について話し合います。参加者に、物作りの楽しさや美術に対する興味を持ってもらえる方法を模索します。



**pick up 3**

版画コース 3年次 版画II

### 製本・アートブック

「本」は古代から現代まで形を変えながら、歴史的に重要な役割を果たしてきました。西洋製本の歴史と構造に焦点を当て、基礎的な製本技術と知識を学びます。「本」という形式を軸に、自由な発想で表現を行う「アートブック」の授業へとつなげていきます。

# 学生 インタビュー



版画コース 3年生  
李 芸智さん

1997年 韓国出身  
General Equivalency Diploma 卒業

### 充実した制作環境で大学院進学も目標に

日本に留学し、版画を学びたいという目的意識があり入学を決めましたが、2年次から版画コースに進むと、想像以上に制作環境が充実していました。2年次では、銅版画・リトグラフ・木版画・シルクスクリーン・写真製版など、いろいろな版種を試して、その中から自分にあつている技法を、1年をかけてじっくり探すことができます。先生方はきめ細やかに指導してください、まだ慣れていない技法であっても作品制作が充実したものになっていると感じています。版画コースの授業の中には、実技以外にも充実している内容があり、例えば阿部先生が担当する「版画表現演習I」では、版画の基本的な知識やアーティストの紹介などもあり、版画に取り組んでいく上で必要な基礎知識から学ぶことができる授業などもあります。それに、女子美では留学生へのサポートが手厚く、私自身も通いやすい大学だと感じています。1年次には国際センターのサポートもあり、文章力も上がりました。近い将来、大学院の進学も考えるようになりました。大学生活2年目で、自分の目標を定めることができました。



<版画コース 2年次 版画I シルクスクリーン>制作作品

他にも紙漉き  
写真製版もできます。

デッサン力を鍛えたい。  
自分のペースで学びたい。

## ドローイングセンター



10号館の2階奥にひっそりと存在するドローイングセンター。実は大学内では密かな人気スペースです。石膏像やさまざまなモチーフと自由に使用できる画材が常に用意されています。自分でモチーフを組んだり、日によっては放課後にモデルさんを描けたり、講師の先生の丁寧な個別指導を受けることもできます。授業の空き時間に、放課後に、テッサンを基礎から確認したい人も、スキルアップを目指す人も、自分に合った使い方を見つけてください。

シルバーやフェルトを素材に使ってみたい。  
Photoshopを覚えたい。

## 美術選択演習 一専攻を越えて学べるシステム



他専攻のさまざまな素材、技法と出会えます。

金属の知識を学んでシルバーリングが制作ができる「金工／ジュエリー」、羊毛を素材に工程を学び、日常で使えるフェルト作品制作ができる「繊維／フェルト」など、専攻を越えて興味を持った素材や技法と出会うことができます。

グラフィックソフトの入門から応用まで学べます。

「メディア」の授業ではIllustrator、Photoshopなどのグラフィックソフトの基本的な使い方とそれぞれのソフトの連携方法を習得します。「3D」の授業では、初級ではAfterEffectsを使用してのアニメーション制作、さらに中級ではプロジェクトションマッピングの演習もあります。

デザインの授業も受けたい。

## ヴィジュアルデザイン単位互換授業 —デザイン選択実技/演習



学科を越えて単位が取れます。

洋画専攻でもデザイン・工芸学科のヴィジュアルデザイン専攻の授業の単位を取得することができます。「グラフィックデザイン」、「タイポグラフィ」、「パッケージデザイン」、「広告」、「ヴィジュアルコミュニケーション」などから選択、受講することができます。

### 美術選択演習 科目一覧

素描/描写	日本画	C G	*製本
パネル作製	金工／ジュエリー	写真	*3D・CG初級
紙	繊維/フェルト	メディア	*3D・CG中級

\*印は2年次のみで履修選択できます。

## 社会とアートの新たな関係

社会と関わるアーティストの役割について考えるようになりました。



大学院博士後期課程  
美術専攻 洋画研究領域 3年生  
若松 はるかさん

1994年神奈川県出身、長野県育ち。2016年に洋画専攻を卒業。現在、博士後期課程に進み制作研究を続けています。経過する時と忘却する記憶をキーワードに、生命に必ず訪れる死の存在や今を生きることの尊さを表現している。主な展覧会に「人間贊歌」(2018年、北アルプス展望美術館/長野県)や「Coil vol.8」(2017年、藍画廊/銀座)など。



「呼吸、見つめて、手を合わせて」相田みづを美術館でのグループ展(2019年)展示風景

### 制作を続けるために博士後期課程へ

大学院に進学しようと思ったのは、学部時代に指導を受けた先生の研究室の前を通りかかった時に「つくりたいなら続けたらいい」という言葉をかけていただいたことがきっかけになりました。その後、博士後期課程にまで進むとは意識していませんでした。修了することを考えると、制作を辞めて生きていくことが想像できなくなってしまい作品を作り続けるために進学を決意した経緯があります。

### 言葉を使った作品制作

学部生の頃を振り返ってみると、一年次からステートメントを書く習慣があり、講評会も必ずプレゼン用のテキストを準備してから臨んでいました。私の作品には絵を描くだけでなく詩作も含まれていますが、元々絵画のみを発表するというよりは、背景に常に言葉が共にありました。詩と絵画を発表するスタイルに迷ったこともあります。特に、精神的に衝撃を受けたある出来事に遭遇したことから絵が描けなくなったり時期があり、詩による表現を模索

し始めました。その時期にも言葉は溢れていて、言葉があったからこそ作品をつくることを継続できたのだなと思っています。博士後期課程に進学した一年次、客員教授のイケムラレイコ先生によるSkype講評があり、20分ほどの限られた時間でしたが、私の制作の本質を見抜き、詩作を続けることを後押しするコメントをいただき、原点を見つめ返すことの大切さを実感しました。

### アートと社会の接点

イケムラ先生との接点は、学部生の時に講演会でお話を伺う機会がありました。ちょうどその頃ジェンダー論を受講していましたこともあり、海外で活動する女性作家のお話を聞くことは制作の励みにもなりました。博士後期課程に進学した今では、社会と関わるアーティストの役割について考えるようになりました。きっかけはいくつありますが、洋画研究室が主宰しているチャリティー展の義援金を持って岩手県宮古市に出向き、被災地の復興を見たこと、Y-AIR\*というアーティスト・イン・レジデンス事業で、フィリピンと陸前高田へ滞在した経験が、表現する

ことを改めて問い合わせ直す機会となり、新たな絵画作品の可能性を模索するようになりました。今は作品制作と並行して、自作研究のための論文執筆にも取り組んでいます。

\*Y-AIR (Artist in Residence for Young) とは、2013年から遊工房アートスペースと美術系大学が、美大生や美大卒業生が海外のAIRにアクセスしやすい環境作りを目指している協働構想。



Y-AIRプロジェクトで訪れた陸前高田市 東日本大震災によって甚大な被害を受けた陸前高田市。箱根山の展望台からは9年間の復興の軌跡を垣間見ることが出来る。



Y-AIRプロジェクトで訪れたフィリピン、マニラ市 日本からの参加メンバーとフィリピンの学生やアーティストが、作品プレゼンテーションを行った。

### TOPIC



### 洋画専攻の学生が相模原市で 地域連携プロジェクト&ワークショップを行いました

女子美術大学×アートラボはしもと連携プロジェクト  
「Diversity in Life 多文化交流～制作の現場から」

洋画専攻の学生が相模原市が運営するアートの活動拠点「アートラボはしもと」と連携プロジェクトを行いました。留学生と日本人学生とが共同制作・展示を行うことで、多様性や互いの文化の違いに目を向ける機会を持ちました。マンションのモデルルームだった建物の特徴を活かした大型インスタレーション作品も現れ、学内では試みることができなかったような展覧会になりました。学生たちが企画したワークショップ「卵のからでモザイクアートを作ろう」は地域の親子連れのみなさまのお陰で盛況に終えることができ、アートによって人と人がつながっていく実感を共有できたひとときでした。



上：ワークショップ「卵のからでモザイクアートを作ろう」  
下：ワークショップ「卵のからでモザイクアートを作ろう」

# どんな授業がオススメですか? 洋画の学生に聞いてみました

授業では美術分野はもちろん、キャリア形成や外国語なども履修することができます。4名の学生に聞いたオススメの授業やキャンパスライフから女子美術大学での過ごし方を想像してみてください。

## INTERVIEW 01

版画コース 2年生  
井上 瑞乃さん

2000年 愛媛県生まれ / 済美高等学校 卒業

高校の時から美術科に通い、油絵を描いてきましたが、大学に入って版画の技法に触れて、リトグラフと銅版画に興味を持ちました。実技以外の授業では色彩学や数理科学が面白かったです。眼球の仕組みや錯覚について初めて知ることができました。授業がない時間は、図書館で映画を見たりして過ごしています。



1年次 前期 時間割

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限			精神保健			
2限	基礎構成演習	日本美術全史	色彩学	基礎構成演習		
3限						
4限						
5限	数理科学		ドイツ語	西洋美術全史		

④好きな映画は?／⑤チャーリーとチョコレート工場

## INTERVIEW 02

版画コース 3年生  
佐竹 莉花さん

1999年 徳島県生まれ / 徳島県立名西高等学校 卒業

大学生活を送る上で、将来のことを考えて就職を意識するようになりました。キャリア形成の授業では、ウェブ上でポートフォリオをアップしてアピールする方法など実践的に学ぶことができ、とてもためになりました。自分の絵を活かして仕事やデザイン職を目指し、益々技術を磨いていい作品を創っていきたいです。



2年次 後期 時間割

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限						
2限	芸文オブジェⅡ 芸術表現	中国語Ⅰ	視覚心理学	文化資源学	心理学	
3限						
4限	コンピュータ入門A	コンピュータ入門B		生命科学	造形心理学	
5限	版画表現演習	モード形成Ⅲ			西洋美術全史	

④好きな音楽は?／⑤モード・モード

## INTERVIEW 03

絵画コース 4年生  
二木 沙和さん

1999年 福島県生まれ / 福島西高等学校 卒業

副専攻で色彩学を専攻しています。色彩心理学や錯覚について学ぶことで、自分が絵画を描くときに、観る人の視点に立って制作することを意識するようになりました。将来は美術教員を目指しているので、大学では幅広くさまざまなことを学んで、視野を広げていきたいと思っています。



3年次 前期 時間割

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限	芸文オブジェⅡ 色彩学	モード形成Ⅲ		生徒指導論		
2限	文様史	美術評論芸術教育法	色彩文化研究会	色彩学		
3限						
4限						
5限	スポーツ実習B			絵画素材論		

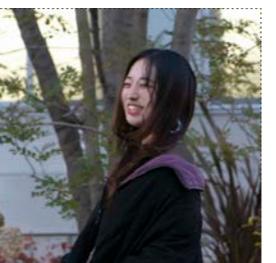
④好きな学食のメニューは?／⑤ロコモ共

## INTERVIEW 04

大学院 博士前期課程  
美術専攻 洋画研究領域 1年生  
伊藤 朋子さん

1997年 東京都生まれ / 東京都立福生高等学校 卒業

学生生活を振り返って自分の糧になった授業はいくつもありますが、後輩におすすめするならば古美術研究旅行。自国の文化を再認識するきっかけになります。洋画で学んだ経験を活かして、テンペラやパネル制作のティーチング・アシスタントをしたり、母校で巨大な貼り絵づくりのサポートもしました。今後は作品の精度を高めていって、どんどん発表していきたいです。



4年次 後期 時間割

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限	芸文オブジェⅡ 色彩学	モード形成Ⅲ				
2限	文様史	美術評論芸術教育法	色彩文化研究会	色彩学		
3限						
4限						
5限	スポーツ実習B			イタリア語Ⅲ		

④好きな漫画家は?／⑤島崎京子

## 洋画専攻カリキュラム

1年次から選択できるカリキュラムで、基礎力をつけながら自分らしい表現を見つけることができます。2年次で「絵画コース」と「版画コース」に分かれ、専門性を高めて技術を磨きます。3年次になるとそれらがテーマと表現方法を確立して卒業制作を迎えます。将来の目標に向かってじっくり学べる4年間です。



## 洋画研究室教員

国内外で活躍するアーティストや美術評論家など、多彩な教員が社会に通用するクリエイター、アーティストを育てます。

**専任教員** 絵画コース 大森 悟 岸 鹿津代 広瀬 晴美 福士 朋子 堀込 幸枝 山内 隆  
版画コース 阿部 大介 清水 美三子

**客員教授** イケムラレイコ 水沢 勉

**特別招聘教授** 清水 哲郎 白井 美穂

**講師** 絵画コース 井崎 聖子 AKI INOMATA 小島 真木 岡本 将徳 加茂 昂 河合 洋明 川端 薫  
菅野 静香 木之内 恵子 熊谷 直人 坂口 寛敏 重田 佑介 篠原 愛 清水 香帆  
菅原 智子 鈴木 恵美子 鈴木 伸子 関口 雅文 中村 萌 長沢 郁美 野田 若菜  
乗田 菜々美 尾藤 衡巳 福地 明乃 藤原 由葵 山内 舞子 リンダ・デニス  
今井 圭介 斎藤 里香 作田 富幸 鈴木 彩 滝沢 恒司 中村 花絵 沼下 桂子

**助手** 絵画コース 東條 陽太 林 航 前川 加奈 松島 千晶 丸森 初音  
版画コース 太田 純理 田中 唯子



女子美術大学 洋画専攻 パンフレット

2020年5月 発行

発行者：女子美術大学 洋画研究室

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900

<http://mixed-color.com/>

@joshibiyoga

@joshibiyoga

@yoga\_joshibi



デザイン 中村 花絵

ライター 沼下 桂子  
(学生インタビュー)

AD・編集・写真 女子美術大学 洋画研究室



前期		週 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18																											
1年次	洋画 専攻	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	31月	32月	33月	34月	35月	36月	37月	38月	39月	40月	41月	42月	43月	44月	45月	46月	47月	48月	49月
2年次	絵画 コース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	31月	32月	33月	34月	35月	36月	37月	38月	39月	40月	41月	42月	43月	44月	45月	46月	47月	48月	49月
3年次	版画 コース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	31月	32月	33月	34月	35月	36月	37月	38月	39月	40月	41月	42月	43月	44月	45月	46月	47月	48月	49月
4年次	絵画 コース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16月	17月	18月	19月	20月	21月	22月	23月	24月	25月	26月	27月	28月	29月	30月	31月	32月	33月	34月	35月	36月	37月	38月	39月	40月	41月	42月	43月	44月	45月	46月	47月	48月	49月
夏季休業																																															

# 洋画専攻カリキュラム PICK UP

## 洋画専攻 1年次

洋画専攻で学べるのは油彩とデッサンだけではありません。  
選択できるカリキュラムで、様々な素材、技法に挑戦して自分らしい表現を見つけます。

**洋画専攻 1年次 絵画IA**  
校内およびグランドの取材から《風景》

**洋画専攻 1年次 絵画IB**  
静物・人体コスチューム

**洋画専攻 1年次 絵画IB**  
動物・植物

**版と写真**

古くから人間と深い関わりを持ち、様々な表現の対象となってきた動物と植物。間近で観察することによる発見や、現代社会における人間との関わりから考察する事で得られる発想など、様々なアプローチから作品制作を行います。古典から現代までの人物画・静物画の作品紹介も行い、技法や様式の変遷を学びます。

**版画(リトグラフ・銅版画)**

版画と写真的表現はめまぐるしく変化しています。授業では現代の版画作家や写真家を紹介し、写真を印画する方法や間接的にイメージを写す表現を学びます。様々な方法で写し取ったイメージを使って、平面・立体・インスタレーションなどに展開します。

## 絵画コース 2年次

興味を持った画材や技法の研究をしたり、多様な表現に挑戦できる絵画コースの2年次。  
テンペラ画、インスタレーション、アニメーションの授業も選択することができます。

**絵画コース 2年次 絵画IIA**  
古典技法(テンペラ)

**古典技法(テンペラ)**

古典技法を過去の技法としてではなく、現代への橋渡しをする技法として解説します。水性画材と油性画材の中間に位置するテンペラ画の美術史的成り立ちについて基礎知識を学び、実習を通して技術、手法を習得していきます。

**絵画コース 2年次 絵画IIB**  
インスタレーション

表現形式にとらわれず各自のテーマを具現化することを目指し、実験的な制作研究を行います。エスキース指導やディスカッションを行うことで、さまざまな考へ方や技法を学び、広い視野と柔軟な発想と表現方法を獲得していく授業です。

**絵画コース 2年次 絵画IIB**  
マンガ

子供の頃からマンガが好きで美大に進んだ人も多いのではないでしょうか。では「マンガ」とは何でしょうか?授業ではマンガの構造を論理的に理解してから、絵画や他のメディアに触れる機会を通して各自の創造性と世界観をより豊かに展開していきます。

**絵画コース 2年次 絵画IIB**  
デジタル・アナログ イラストレーション

油彩画や水彩画などで培った技術をベースに、デジタル機器やグラフィックソフトによる表現を学びます。タブレットPC、液晶ペンタブレットなどを用い、先端のメディアに触れる機会を通して各自の創造性と世界観をより豊かに展開していきます。

**絵画コース 2年次 絵画IIB**  
アニメーション

洋画専攻で学んでいるドローイングや絵画を用いて、デジタルカメラでコマ撮りアニメーションを制作します。アニメーションの基本的な手法を学ぶと同時に、様々な素材にカメラを通して触れていくことで、「素材」を再発見制作の幅を広げます。

## 絵画コース 3年次

3年次では作品やプロジェクトの社会への発信が始まります。  
ディスカッションやプレゼンテーションの機会も多く、考える力、伝える力を養います。

**絵画コース 3年次 絵画IIIB**  
グループワーク「ワーク・イン・プログレス」

グループディスカッションを通してテーマや表現方法を決定し、皆で作品を完成させ発表を行います。リアルタイムでプロセスを公開しながら表現を構築していくことで、より多様性のある作品を生み出す方法論を探求していきます。

**絵画コース 3年次 絵画IIIB**  
少人数ゼミ《立体ゼミ(木工など)》

洋画専攻では立体作品を制作できる授業があります。木という素材と出会ったことが卒業制作につながる学生もいます。絵画を基礎として学んだ学生ならではの、独自の発想による造形が生まれているのも洋画専攻の特徴のひとつです。

**絵画コース 3年次 絵画IIIB**  
少人数ゼミ《写真ゼミ》

写真、動画映像などを通して、社会や環境に含まれる価値観や問題意識を新たな視点から探究します。印刷紙などを用いて光や現象としての色彩や時間などの関係性の問題、人物や記憶や内面的な心理描写の問題を学び取ってもらいます。

**絵画コース 3年次 絵画IIIB**  
コンペティション

コンペティションでは作品で競うよりも、最終的に作品がどう見えるかを意識し、客観的に自分や同級生の作品を見る目ができるようになります。

**絵画コース 3年次 絵画III A・III B**  
各自のテーマによる制作

3年次後期になると、それぞれのテーマでの制作がメインになります。ポートフォリオ作成の指導を受け、プレゼンテーションの練習も重ね、自分なりの表現方法を確立して卒業制作の準備を進めます。

## ドローイングセンター



## 美術選択演習

- 専攻を越えて学ぶシステム

**他専攻のさまざまな素材、技法と出会えます。**

シルバーリングが制作できる「金工／ジュエリー」や、日常で使えるフェルト作品が制作できる「織維／フェルト」、グラフィックスクールの入門から応用まで学べる「メディア」「3D」の授業もあります。

デッサン力をつけるならここへ!

本学には「ドローイングセンター」という施設があります。デッサンはもちろん現代的なドローイングのノウハウをセンターの講師や教員の指導のもと学べます。誰でも利用可能で、自主制作や授業の延長など、利用する学生によって目的を自由に設定できます。表現のスキルアップのため、ぜひ活用して下さい。

## ヴィジュアルデザイン単位互換授業

**デザインの単位もとれます!**

ヴィジュアルデザイン専攻との単位互換授業があります。「グラフィックデザイン」、「タイポグラフィ」、「パッケージデザイン」、「広告」、「ヴィジュアルコミュニケーション」などを学べます。

## 絵画コース 4年次



4年になると専門性によって3つのゼミに別れます。具象・写実など古典技法をベースにした絵画制作、同時代生のある絵画制作、立体・インスタレーション・写真・映像・パフォーマンスなど、自由に選ぶことができます。

**卒業制作**  
左一:野 万奈「子どもたち」油彩、キャンバス 181.8×227.3cm  
左二:桃代「置かのアクリル、キャンバス 162×162cm  
左下:津 祐美「一人部屋」油・パネル 162×162cm  
右下:親 千夏「WILDLIFE」ミクストメディア 180×110×80cm



## 大学院-洋画研究領域



修了制作 サ プンタイ「九狐図」油彩、キャンバス 181.8×454.6cm

大学院ではアーティスト、研究者、教育者になるためにさらに専門的に学びます。社会の中で、また美術史の流れの中での自らの立ち位置を確認し、それそれの表現につなげます。



洋画表現技法演習

## 版画コース 2年次

版画コースは2年次から始まります。  
まず基本的な4版種、銅版画・リトグラフ・木版画・シルクスクリーンを学びます。

**版画コース 2年次 絵画I**  
銅版画

ニードルやビュランを使ってイメージを刻み、刻んだ部分にインクを詰めて刷りとりります。描写力・構成力を重点におさながら、様々な技法を経験して表現の可能性を探ります。銅版画の原理、各技法の説明で、技法の特徴と工程を理解できるようにします。

**版画コース 2年次 絵画I**  
リトグラフ

〈版画=影〉イメージがありますが、リトグラフは平らなアルミ版にクレヨンなどの油性の描画材で描きます。紙に描くとの違い表現が自由に描けることがあります。版多色複数刷りの作品制作を通して、6種類の彫刻刀やバレンなど専用の道具の使い方や様々な刷りの技術を習得します。

**版画コース 2年次 絵画I**  
木版画

彫り方や刷り方を工夫することで、透き通るような淡い調子から力強い色や形まで幅広い表現の可能性を探求できる版種です。版多色複数刷りの作品制作を通して、6種類の彫刻刀やバレンなど専用の道具の使い方や様々な刷りの技術を習得します。

**版画コース 2年次 絵画I**  
シルクスクリーン

布の細かい織り目を通してインクを刷ります。Tシャツやアクリル板など、様々な支持体に刷ることができます。版を自由に刷り重ねることができる特性を生かし、5版以上の色彩に分版して制作します。技法独特の表現と基礎的技術を習得します。

**版画コース 2年次 絵画I**  
アートワーク

版画制作において和紙や洋紙などの「紙」は最もポピュラーで重要な支持体です。授業ではデザインノーパーの制作・発注を行い、身近で実用的な紙製品に成型する中で「紙と印刷の関係性」を考えます。グラフィックソフトの基礎的なスキルも養います。

## 版画コース 3年次

3年次では専門の版種を選びます。  
印刷・製本・デジタルプリント・ワークショップの実践などから、専門性の幅を広げます。

**版画コース 3年次 版画I**  
版画応用

2年生で習得した技術を基に、自分に合った技法を選んで制作します。技術に磨きをかけながら、自分が表現したいことを探ります。作家を招いての特別講義、美術館・ギャラリー鑑賞などを通じて、版を使った表現について思考を深めます。

**版画コース 3年次 版画I**  
製作・アートブック

「本」は古代から現代まで形を変えながら、歴史的に重要な役割を果たしてきました。西洋製本の歴史と構造に焦点を当て、基礎的な製本技術と知識を学びます。「本」という形式を軸に、自由な発想で表現を行う「アートブック」の授業へとつなげていきます。

**版画コース 3年次 版画I**  
表現と言葉

現在、様々な版画の技法において紙が支持体として用いられています。伝統的な紙漉きの方法を体験しながら、紙の作り方や特性について学びます。それそれの紙の特性が、どのように版表現に影響するのかを考察します。

**版画コース 3年次 版画I**  
紙漉き

版画の技術や知識を活かして、地域の子どもを対象にしたワークショップを行います。ディスカッションを通してアイデアや実施方法について話し合います。参加者に、物作りの楽しさや美術に対する興味を持つもらえる方法を模索します。

**版画コース 3年次 版画I**  
公共学習ゼミ

## 版画コース 4年次

## 大学院-版画研究領域

これまでの制作を踏まえて、担当教員と作品について面談を行います。熟考されたテーマと習得した技術の集大成として作品を完成させます。毎年12月に行われる「全国大学版画展」では本学学生も出品し、美術館に作品が多数収蔵されています。

**卒業制作**  
左一:栗谷 知留「20150701」シルクスクリーン、手彩色 サイズ可変  
右上:藤井 さつき「増殖と変化」シルクスクリーン サイズ可変  
右下:東口 里生「並暁の喰魔」銅版画、カラージュ 16.5×35.5cm

各自のテーマに沿って、自発的な制作を年間を通して統けます。実技指導だけでなく、自身の作品を論理的に語れるよう特別授業も行います。

**修了制作**  
左一:加藤 みゆき「It is also Me」リトグラフ 82×174cm  
右一:青 育「渕戸内海ツアー」銅版画、カラージュ 118.3×88cm